

出藍の誉れ

〈学校の教育目標〉

自主共生

自ら 仲間と共に よりよく

ピンクシャツ DAYの取組 を行いました

2月28日（水）～3月1日（金）まで、生徒会が主催してピンクシャツ DAYの取組を行いました。

ピンクシャツ DAYとは、2007年カナダのハイスクールで9年生の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことからかわれ、暴行を受けたことで、耐え切れずに帰宅してしまいました。そのことを聞いた上級生は、放課後75枚のピンク色のシャツやタンクトップを買いこみ、掲示板等を通じて全校に呼びかけをしました。すると、次の日全校生徒がピンク色を身につけてきて、いじめられた子も安心して登校できるようになりました。それから、2月の最終水曜日をピンクシャツ DAYとすることになりました。

そこで、ピンクシャツの紙にいじめ0にむけた宣言を全校生徒が書き、この3日間にピンクのリボンを身につけました。この取組を通して、いじめは決して許されないものであることを再確認することができました。



いじめについて考える授業 を行いました

ピンクシャツ DAYの取組の一環で、2月22日（木）に生徒会執行部が主催となり、全校で「いじめについて考える授業」を行いました。最初に、ピンクシャツ DAYの取組と2019年に岐阜市の中学校で起こったいじめ事案についての

説明がありました。次に、「テレビに表示された行動の中でいじめだと判断できるのはどれだと思いますか？」を質問をし、全校生徒がタブレットを使って、アンケートに答えていました。その後は、生徒会からの質問に対して、学習班で考えを出し合ったり、個人で考え合ったりしながら、いじめを未然に防ぐためにできることや、いじめがあったときに傍観者にならないことについて考えを深めることができました。

授業の最後のまとめを紹介します。

- 相手のことも理解した上で話すことが大切だと思う。価値観が全員同じわけではないから、お互い尊重し合うことが大切だと思う。
- この先自分と全く同じ価値観の人などいないので、自分と同じ価値観の人を求めるんじゃなくて、むしろ、逆に自分と違う価値観の人を求めることを心がけるとよい。
- 一人一人に個性があり、お互いのことを理解しそれらを認め合うことで、いじめを未然に防ぐことができると思う。いじめは絶対起きてはいけなから、これからもみんなと仲良く生活をしていきたい。
- 傍観者はいじめが起きていることを知っている上で、何もしようとしていない人だと思うので、「いじめだ！」と思ったらすぐにまわりの友達に「あれやばくね？」って伝えて、いじめがダメなことだと認識できるように自分から行動することが大切だと思う。

